

令和3年度 生命地域妙高環境会議事業報告について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありましたが、環境保全活動は継続性が重要であることから、内容を精査し感染症対策を施し事業を実施しました。

1. 生物多様性保全活動の推進

- いもり池のスイレン駆除活動の実施
 - ・第1回 6月12日～13日 2日間 地元地区との協働（計53名）
水面藻刈船によるスイレンの刈取り
防草シートの連結作業及び湖底敷設のための土嚢作成
 - ・第2回 6月22日～23日 2日間 地元地区との協働（計34名）
防草シートの湖底敷設作業（防草シート1,600㎡）
 - ・第3回 10月3日～4日 2日間 地元地区との協働（計40名）
手漕ぎボートによるスイレン刈取り
- 笹ヶ峰高原におけるオオハンゴンソウの除去
 - ・8月20日（計60名）

2. プロジェクトの推進

- 火打山自然再生プロジェクト
 - ・クラウドファンディング充当事業
「頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査事業」
内 容：①繁殖期及び非繁殖期におけるライチョウ個体数調査
②哺乳類相調査
③雪上レクリエーション活動エリアでのライチョウ生息状況調査
- 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト
 - ・ふる里の川普請（渋江川クリーン作戦）
8月7日中止（市内における新型コロナウイルス感染症拡大による）
- 《関連事業》
 - ・登山道整備（観光商工課）
 - ・いもり池周辺におけるヨシの除去作業（観光商工課）
 - ・里山の整備活動（妙高里山保全クラブ等）
 - ・ニホンジカ行動把握調査（森林管理署）
 - ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲技術講習会（新潟県、環境生活課）
 - ・自然体験プログラムの開催
（いもり池観光案内所、国立妙高青少年自然の家、妙高高原ビジターセンター）
 - ・あまとみトレイルの開通（妙高戸隠連山国立公園連絡協議会）

3. 情報発信機能の充実

- 火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム「火打山ナビ」の運用
- 生命地域妙高環境会議ホームページによる情報発信

4. 環境サポーターズ制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等への協力
 - ・R4.3 末現在 310 名が登録（令和 2 年度から 17 名の増）
 - いもり池スイレン除去活動、ライチョウ生息環境保全活動（イネ科植物除去）、オオハンゴンソウ除去活動への参加

5. 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に則った指定野生動植物の保護
 - ・希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板の設置
 - 4 月 15 日から 10 月 31 日まで
 - ・希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動
通年
- 高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施
 - ・盗掘防止看板の設置 5 月 26 日から 10 月 24 日まで

6. いもり池周辺環境整備事業

- いもり池北側雑木伐採芝張工事
 - ・いもり池北側芝生広場周辺の雑木を伐採し、芝を張ることによる広場の拡大。

7. ミズバショウ増殖事業

- ミズバショウ群落の再生事業
 - ・ミズバショウの採種、育苗

8. 笹ヶ峰高原除草清掃活動

- 笹ヶ峰集団施設地区歩道草刈り及び清掃活動
 - ・遊歩道の草刈り、倒木処理及び清掃活動等
- 5 月 17 日から 10 月 30 日まで

9. エコツーリズムの推進

- 《関連事業》
- ・いもり池ガイドウォーク、きのこと観察会、バードウォッチング
(いもり池観光案内所)
 - ・スノーシュー講座、妙高山・火打山登山案内、地図読み講座
(妙高高原ビジターセンター)
 - ・チャレンジキャンプ 2021（国立妙高少年自然の家）

10. 自主財源確保に向けた取組

- 郵便振替、かざして募金、第一スーパー等からの寄付 80,946 円
 - 妙高高原ビジターセンターに自然環境保全の募金箱設置
- 《関連事業》
- ・ライチョウ保護のためのクラウドファンディング（環境生活課）

令和3年度 生命地域妙高環境会議一般会計決算報告について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	収入済額	増減額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	6,666,000	6,666,000	0	市負担金（クラウドファンディング寄付額1,423,000円含む。）
2 補助金	1 補助金	1 補助金	192,000	0	△192,000	こしじ補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	89,898	89,898	0	令和2年度からの繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	532,000	532,000	0	環境省からの委託費
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	20,102	80,971	60,869	寄付金80,946円、預金利息25円
合計			7,500,000	7,368,869	△131,131	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	支出済額	増減額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	242,000	0	△242,000	書面会議
	2 事務費	1 事務費	162,000	193,860	31,860	職員旅費、募金箱
2 事業費	1 事業費	1 事業費	6,988,000	6,295,157	△692,843	生物多様性保全活動 2,733,029
						火打山自然再生プロジェクト (クラウドファンディング充当事業) 1,543,325
						奥山里山里川再の再生・保全プロジェクト 0
						情報発信機能の充実 64,328
						環境サポーターズ制度の運営 93,225
						希少野生動植物保護活動 123,288
						いもり池周辺環境整備事業 983,290
						ミズバショウ増殖事業 61,994
						笹ヶ峰高原除草清掃活動 (環境省委託費充当事業) 692,678
3 予備費	1 予備費	1 予備費	108,000	0	△108,000	
合計			7,500,000	6,489,017	△1,010,983	

収入済額7,368,869円—支出済額6,489,017円=879,852円のうち、歳入の繰越金89,898円（R2年度寄付金）、諸収入80,971円のうち80,946円（R3年度寄付金）の計170,844円は次年度へ繰越し、差額の709,008円は市一般会計へ返戻

【歳入の部】

- ・こしじ補助金については、計画変更に伴い辞退したため、全額収入未済となった。

【歳出の部】

- ・会議費は、新型コロナウイルスまん延防止のため書面総会となったため未執行となった。
- ・事業費についても新型コロナウイルスまん延防止のため、全体的に事業を縮小したため、支出済額が予算額に比べ692,843円の減額となった。

令和3年度 入域料事業報告について

1 実施内容

(1) 収受箇所

- ①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口 ④事前決済

(2) 収受期間

令和3年7月1日(木)から10月31日(日)まで

(3) 収受方法

①笹ヶ峰登山口

- ・土日祝日及びお盆期間の午前5時から10時までは収受員を配置
- ・上記以外の時間は、協力金箱による収受

②燕温泉登山口

- ・終日協力金箱による収受
- ・地元事業所に管理委託(現地掲示物管理及び協力者記念品配付)

③新赤倉登山口(R3.8.7~R3.10.31)

- ・終日協力金箱による収受
- ・スカイケーブル乗り場に設置

④インターネットを利用した事前決済(R3.7.14~R3.10.31)

- ・ヤママップウェブサイトから入金

(4) 金額

500円(任意) 令和3年度収受額 4,223,199円

2 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業

妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務

決算額：1,430,825円

受託者：一般財団法人上越環境科学センター

箇所：ライチョウ平

- 内容：①センサーカメラ調査(7~11月)
②環境改善事業(イネ科等植物の除去)
③ライチョウ捕食者に係る糞調査(笹ヶ峰登山口~影火打)
④ベニヒカゲ等高山蝶の出現状況調査
⑤捕食者対策(高谷池ヒュッテ施設内におけるわなの設置)

(2) 登山道整備事業

妙高山・火打山地域における登山道整備事業

決算額：1,283,700円(未執行額596,300円は令和4年度へ繰越)

受託者：一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント

箇所：妙高山登山道(大谷ヒュッテ~天狗堂 約500m)

内容：近自然工法による登山道整備 11日間 延べ44人工

3 その他

(1) 入域料協力者への観光施設等での割引特典

- ・妙高ツーリズムマネジメントが作成した地域内クーポンと特典内容が重複していることから、当該クーポンを現地に設置した。

(2) 入域料事業の広報

- ・令和3年度から着手した入域料の事前決済と合わせ、ヤマップのウェブサイトに入域料の記事を掲載することにより、ヤマップアプリを使用する登山者に広報を行った。

(3) 山岳用携帯トイレブースの普及啓発

- ・環境会議では山岳用携帯トイレの普及促進のため、山岳用携帯トイレの作成販売及び使用済み携帯トイレの回収を行った。登山道における携帯トイレブースは、登山道を維持管理する市観光商工課により設置された。

【火打山】 継続

- ・携帯トイレブース : オオシラビソ林
- ・携帯トイレ回収ボックス : 登山口
- ・携帯トイレ販売 : 登山口自動販売機

【妙高山】 新規

- ・携帯トイレブース : 天狗堂
- ・携帯トイレ回収ボックス : 登山口入り口
- ・携帯トイレ販売 : 大日屋売店

令和3年度 入域料特別会計決算報告について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	収入額	増減	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	72,000	72,000	0	市負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	3,500,000	4,223,199	723,199	入域料
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	3,379,291	3,379,291	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	100,709	34,830	△65,879	携帯トイレ売上、預金利息等
合計			7,052,000	7,709,320	657,320	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	支出額	増減	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	120,000	118,237	△1,763	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	2 事務費	150,000	768	△149,232	消耗品等
	3 広告費	3 広告費	200,000	112,035	△87,965	告知チラシ
2 事業費	1 事業費	1 事業費	4,606,000	4,035,589	△570,411	ライチョウ保護対策事業 1,430,825
						登山道整備事業 1,283,700
						収受員賃金 363,168
						燕管理費 54,258
						新赤倉管理費 0
						協力者記念品 897,556
						携帯トイレ購入費 0
	事前決済手数料 6,082					
2 繰越事業費	1 繰越事業費	1,900,000	3,442,691	1,542,691		
3 予備費	1 予備費	1 予備費	76,000	0	△76,000	
合計			7,052,000	7,709,320	657,320	

【歳入の部】

- ・協力金（入域料）について、登山客の増や収受率の増により当初見込みを超えることができた。

【歳出の部】

- ・運営費では、入域料告知チラシをゼロカーボンの観点から紙媒体での配布を減らしたことや消耗品の購入を見送るなど執行の抑制を図ったため、支出済額が予算額に比べ238,960円の減額となった。
- ・事業費については、実施方法の見直しや購入の見送りを行ったため、支出済額が予算額に比べ570,411円の減額となった。

監査報告書

令和3年度の生命地域妙高環境会議会計の経理について監査を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

1. 監査年月日 令和4年5月13日
2. 監査事項 令和3年度 生命地域妙高環境会議一般会計
令和3年度 生命地域妙高環境会議入域料特別会計
3. 監査結果 経理については、関係諸帳簿及び証拠書類ともよく整理され、事務は適正に執行されていることを認めました。

監事

春日良樹

生命地域妙高環境会議 役員の選任について

生命地域妙高環境会議規約第5条の規定に基づき、次の役員を置くものとする。

役職名	氏名	備考
議長	月尾嘉男	東京大学名誉教授
監事	春日良樹	妙高高原ビジターセンター 前館長

※本会議は、議長及び監事の2名の役員を委員の中から選出する規定になっています。

なお、役員の任期は2年です。

(参考)

委員名簿

任期：R4.4.1からR6.3.31まで

氏名	委員(所属・役職)	備考
月尾嘉男	東京大学名誉教授	議長
入村明	妙高市市長	
中村浩志	中村浩志国際鳥類研究所 代表理事	
濁川明男	妙高里山保全クラブ 顧問	
長野康之	新潟ライチョウ研究会 代表	
春日良樹	妙高高原ビジターセンター 前館長	監事
鹿島真由美	国立妙高青少年自然の家 主任企画指導専門職	
築田博	前 環境省 自然保護指導員	
中野豊和	山岳ガイド代表	

氏名	顧問・アドバイザー(所属・役職)	備考
関貴史	環境省長野自然環境事務所妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	
齋藤裕之	林野庁上越森林管理署 総括森林整備官	
嶋田聡	新潟県上越地域振興局健康福祉環境部環境センター環境課長	

令和4年度 生命地域妙高環境会議事業計画（案）について

1. 生物多様性保全活動の推進

- いもり池のスイレン等外来生物（植物）の駆除活動の実施
 - ・池の平温泉区協議会との連携によるスイレン除去活動
 - *防草シートの湖底への敷設 1, 600㎡
 - *専用ボートによるスイレン刈り作業
- オオハンゴンソウの駆除活動（笹ヶ峰高原及びいもり池周辺）

2. プロジェクトの推進

- 火打山自然再生プロジェクト
 - ・クラウドファンディング充当事業
「頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査事業」
- 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト
 - ・ふる里の川普請（渋江川クリーン作戦）
- 《関連事業》
 - ・登山道整備（観光商工課）
 - ・いもり池周辺におけるヨシの除去作業（観光商工課）
 - ・里山の保全活動（妙高里山保全クラブ等）
 - ・ニホンジカ行動把握調査（森林管理署）
 - ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲技術者講習会（新潟県、環境生活課）
 - ・自然体験プログラムの開催（国立妙高青少年自然の家、妙高高原ビジターセンター）

3. 情報発信機能の充実

- 火打やまナビ（スマートフォンを活用した情報提供システム）の運用
- 環境会議公式ホームページによる情報発信

4. 環境サポーターズ制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等を推進するためのボランティア活動団体の運営及び会員募集
- 環境サポーターズスキルアップ講習会の開催
- 環境サポーターズには、国立公園妙高オリジナルTシャツ及び活動キャップの進呈

5. 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に則った指定野生動植物の保護
 - ・希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板設置
 - ・希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動

6. ミズバショウ増殖事業

- ミズバショウ群落の再生事業
 - ・ミズバショウの採種、育苗
 - ・ミズバショウ植栽

7. 笹ヶ峰高原除草清掃活動

- 笹ヶ峰高原における遊歩道の除草及び清掃活動（環境省からの受託事業）

8. エコツーリズムの推進

《関連事業》

- ・自然体験プログラムの提供（妙高高原ビジターセンター）
- ・チャレンジキャンプ2022（国立妙高青少年自然の家）

9. 自主財源の確保

- クラウドファンディングの実施、各種寄付金の受付

令和4年度 生命地域妙高環境会議一般会計予算（案）について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較(A-B)	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	5,419,000	6,666,000	△1,247,000	市負担金（クラウドファンディング寄付額1,406,000円含む。）
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	192,000	△192,000	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	170,844	89,898	80,946	令和3年度からの繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	532,000	532,000	0	環境省からの委託費
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	78,156	20,102	58,054	寄付金、利息ほか
合 計			6,200,000	7,500,000	△1,300,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較(A-B)	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	161,000	242,000	△81,000	委員謝金、費用弁償（会議2回）
	2 事務費	1 事務費	758,000	162,000	596,000	事務消耗品、車両管理費、ピンバッジ作成費
2 事業費	1 事業費	1 事業費	5,155,000	6,988,000	△1,833,000	生物多様性保全活動 2,833,000
						火打山自然再生プロジェクト(クラウドファンディング充当事業) 1,410,000
						奥山里山里川保全費(渋江川クリーン作戦) 88,000
						ホームページ運営費 190,000
						環境ポータル制度推進費 42,000
						希少野生動植物保護活動 30,000
						ミズバショウ増殖事業 30,000
笹ヶ峰高原除草清掃活動(環境省委託費充当事業) 532,000						
3 予備費	1 予備費	1 予備費	126,000	108,000	18,000	
合 計			6,200,000	7,500,000	△1,300,000	

【歳入の部】

- ・昨年度で完了した事業分の負担金が減額となっている。

【歳出の部】

- ・事業費は、いもり池周辺環境整備が完了したことをはじめ、車両管理費やピンバッジ作成費を事務費に変更したため、減額となっている。
- ・基本的に例年どおりの事業を実施する予定。

令和4年度 入域料事業計画（案）について

1 実施内容

(1) 収受個所

①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口 ④事前決済

(2) 収受期間

令和4年7月1日（金）から10月31日（月）まで

(3) 収受方法

①笹ヶ峰登山口

- ・土日祝日及び繁忙期は午前5時から午前10時までは収受員を配置
- ・上記以外の時間は、協力金箱による収受

②燕温泉登山口、③新赤倉登山口

- ・終日協力金箱による収受
- ・地元事業所に管理委託（現地掲示物管理及び協力者記念品配付）

④インターネットを利用した事前決済（R3年度からの継続）

- ・ヤママップウェブサイトから入金

(4) 金額

500円（任意）

2 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業

妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務

予算額：1,500,000円

（令和3年度事業執行残額：69,175円も充当）

箇所：ライチョウ平

内容：環境改善事業

- ・イネ科除去作業
- ・令和2年度実施地におけるモニタリング

(2) 登山道整備事業

妙高山・火打山地域における登山道整備事業

予算額：2,000,000円

（令和3年度事業執行残額：596,300円も充当）

箇所：妙高山登山道（天狗堂～光善寺池 約500m）

内容：近自然工法による登山道整備

3 その他

- (1) 妙高ツーリズムマネジメントとの連携により、入域料協力者が観光施設等で割引特典（例：入浴割引ほか入域料特別特典など）を受けることができる取組を実施
- (2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）
- (3) 山岳用携帯トイレの普及啓発（笹ヶ峰登山口及び燕登山口での販売、周知）

令和4年度 入域料特別会計予算（案）について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	132,440	72,000	60,440	市から負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,400,000	3,500,000	900,000	@500円×8,800名
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	3,442,691	3,379,291	63,400	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	24,869	100,709	△75,840	携帯トイレ売上、預金利息等
合 計			8,000,000	7,052,000	948,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	132,440	120,000	12,440	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	1 事務費	150,000	150,000	0	収受に係る消耗品等
	3 広告費	1 広告費	200,000	200,000	0	告知チラシ等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	4,920,000	4,606,000	314,000	ライチョウ保護対策事業費 1,500,000円
						登山道整備事業 2,000,000円
収受員賃金 400,000円						
燕管理費 60,000円						
協力者記念品 (@100円×9,000個) 900,000						
携帯トイレ購入 (@250円×200個) 50,000						
事前決済手数料 10,000						
2 繰越 事業費	1 繰越 事業費	2,500,000	1,900,000	600,000	次年度ライチョウ保護対策事業及び 登山道整備事業等へ充当	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	97,560	76,000	21,560	
合 計			8,000,000	7,052,000	948,000	

【歳入の部】

- ・協力金（入域料）については、令和3年度実績の5%増としたため、900,000円の増額となっている。

【歳出の部】

- ・事業費は、入域料充当事業の充実や、寄附者増に伴う経費の増加を見込んだため、314,000円の増額となっている。
- ・基本的に例年どおりの事業を実施する予定。